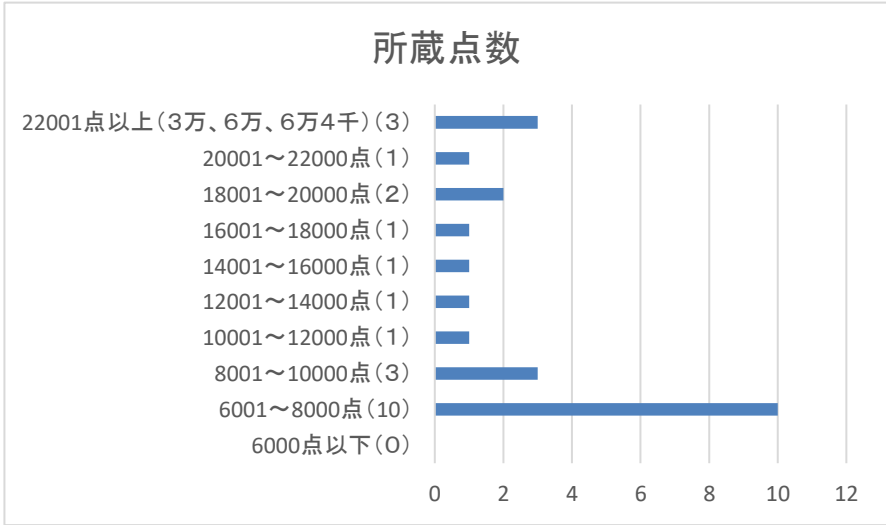
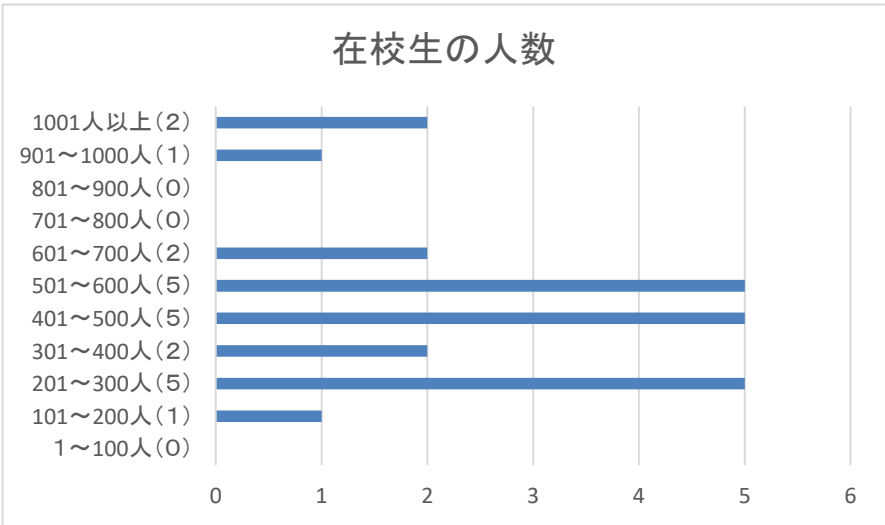


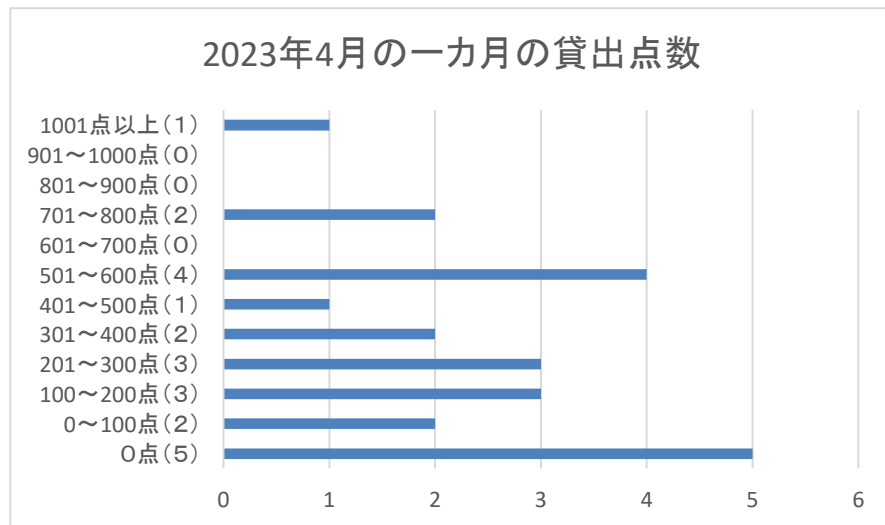
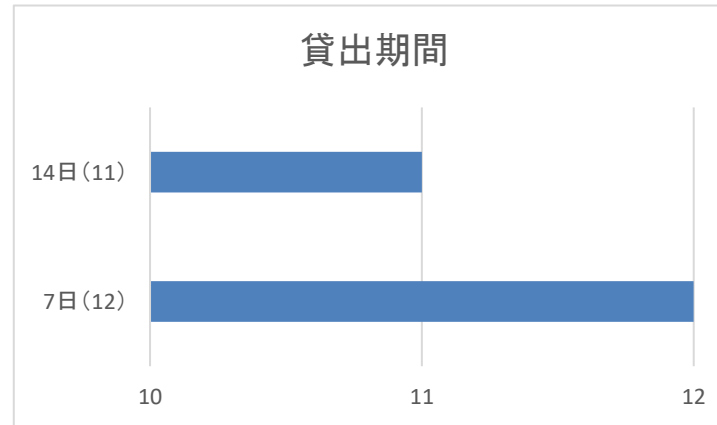
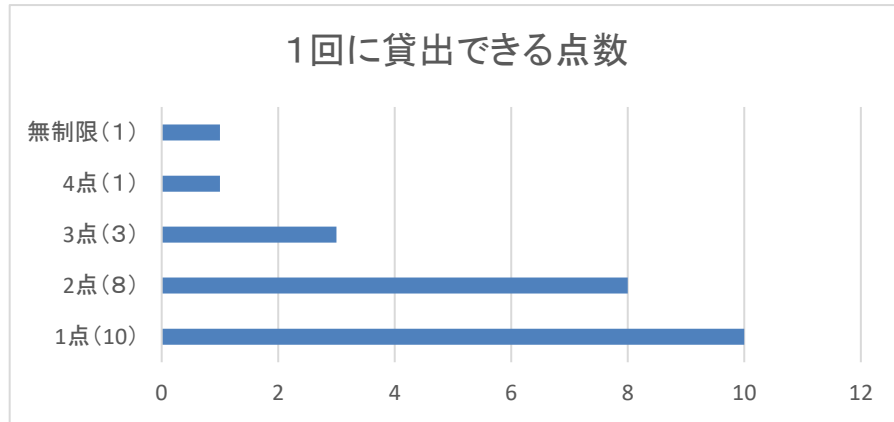
【学校】鎌倉市内の子ども関連施設における読書環境アンケート 集計結果について

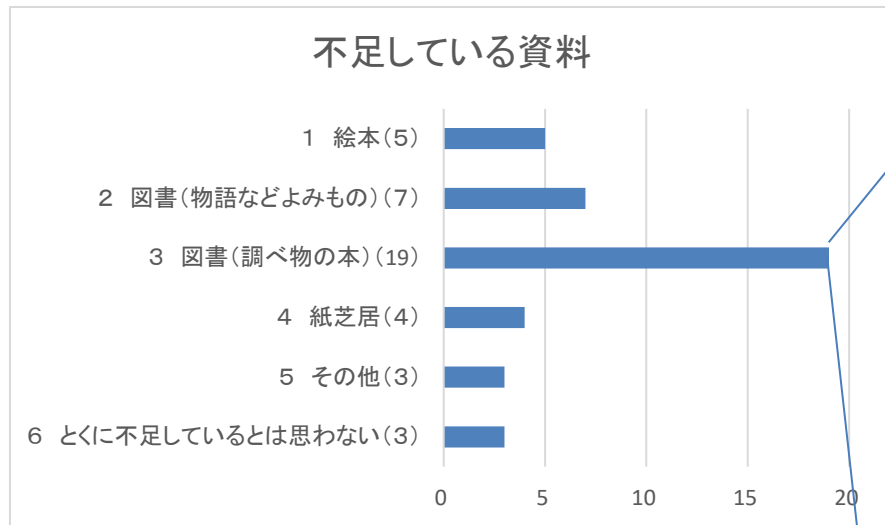
第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進していくにあたり、子ども関連施設の読書環境を把握するため、令和5年（2023年）7月にアンケートを実施しました。
鎌倉市内の小中学校、高校の40施設に依頼し23施設から回答を得ました。
回答率は58%、e-kanagawaでの回答率は20%でした。回答者のうちe-kanagawaでの回答率は35%でした。
ご協力ありがとうございました。

※単位について記載のない数値は学校数を表しています。

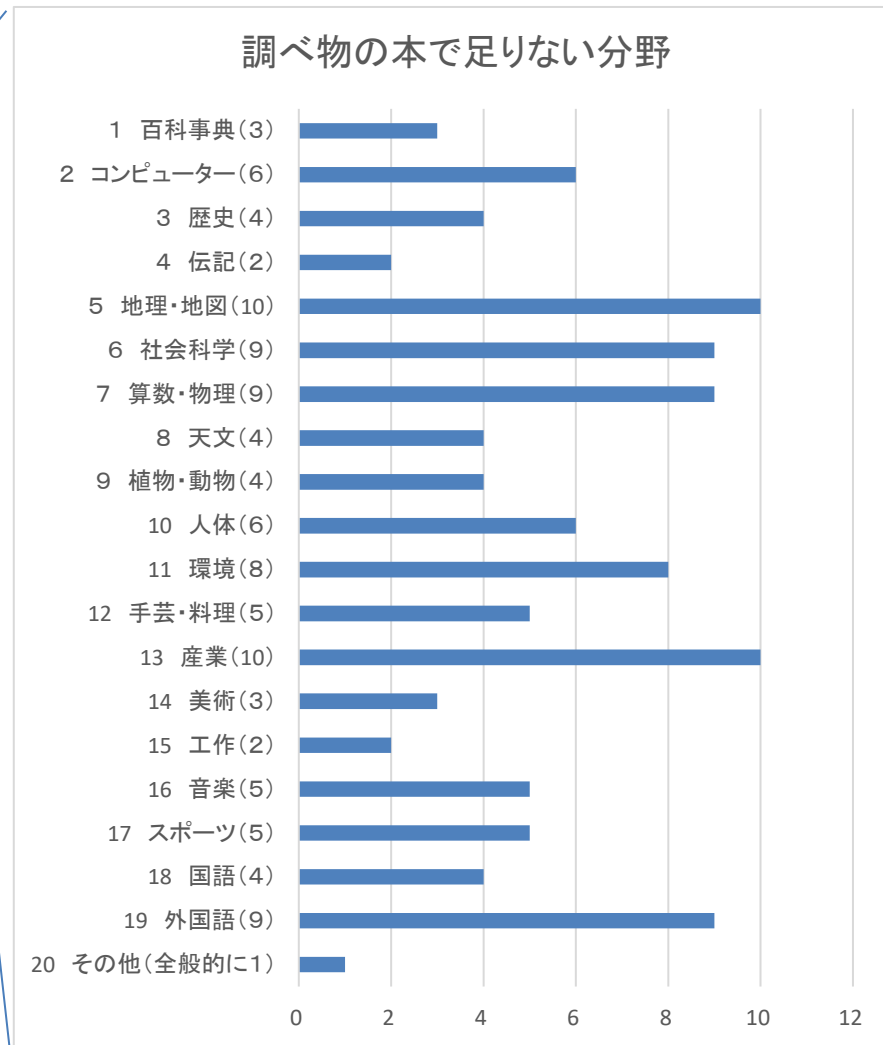


予算につきましては、学校図書館の資料費なのか、システム費などを含む予算なのか、質問事項が明確でなかったため、集計できませんでした。

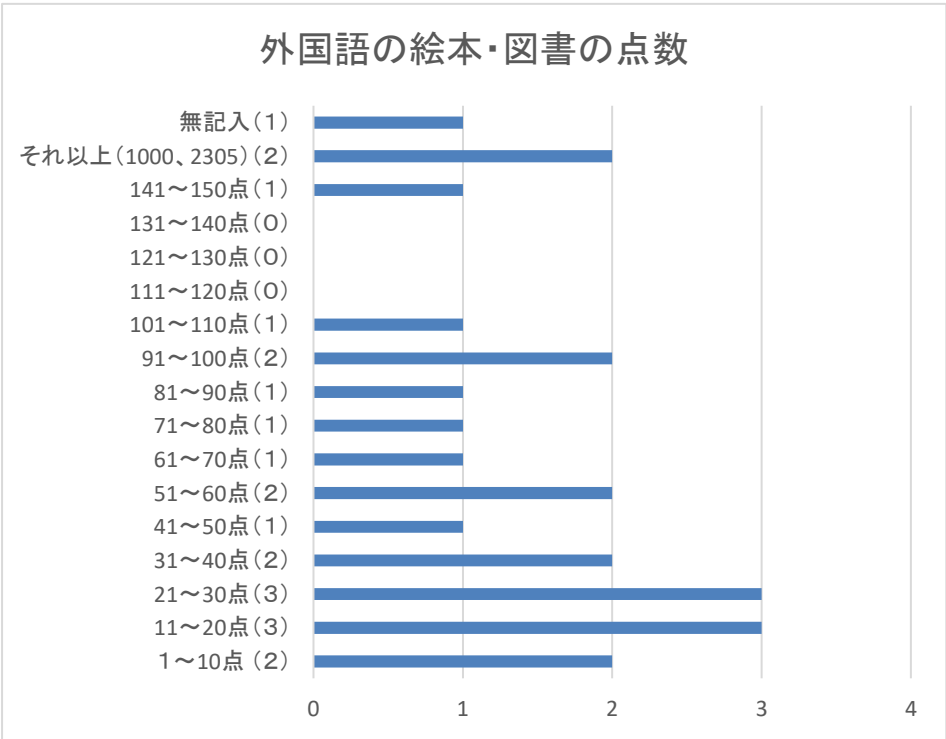
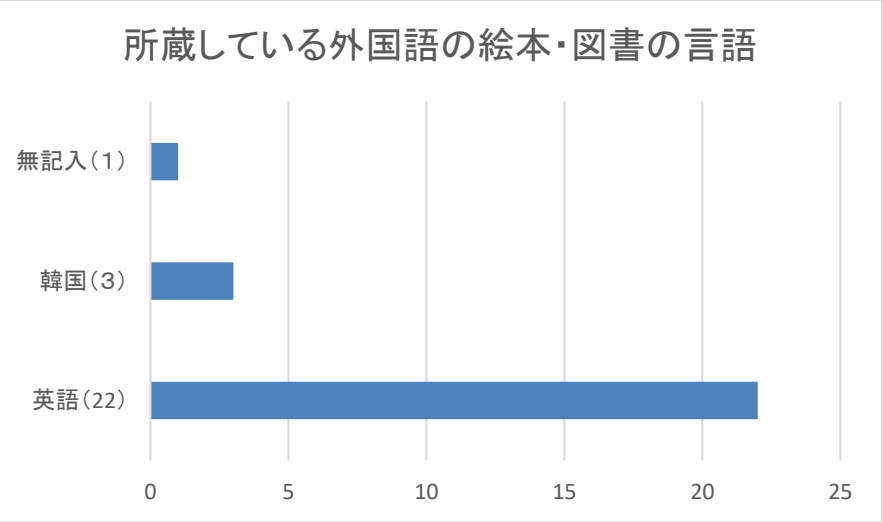
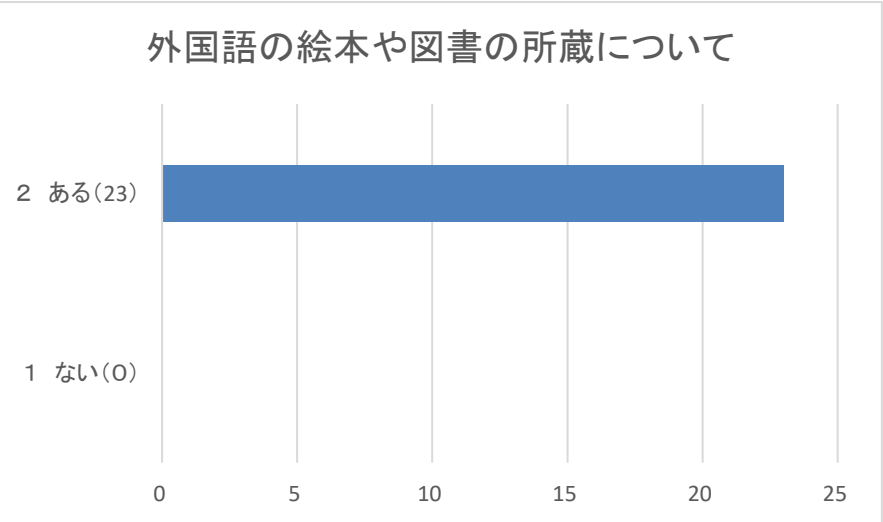




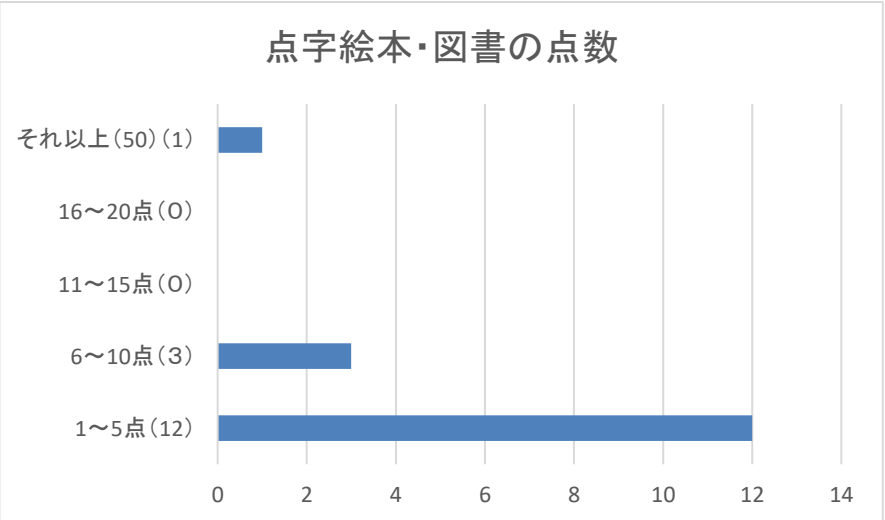
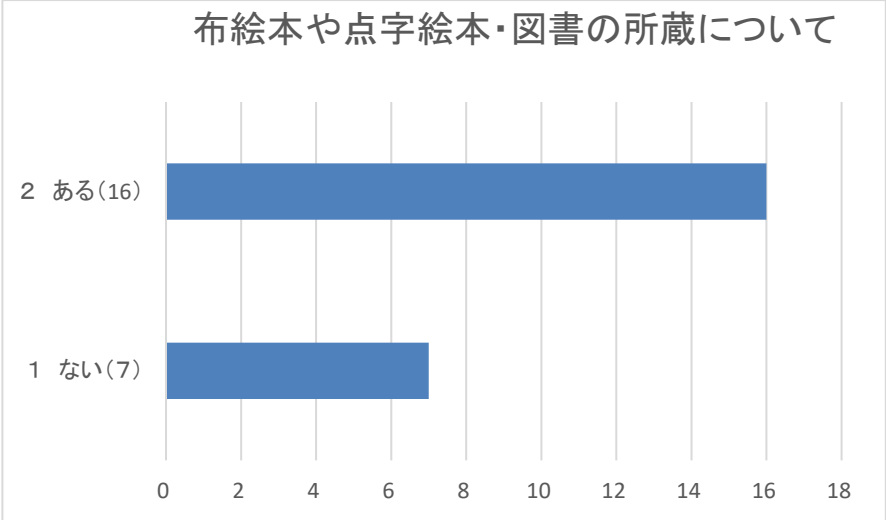
(内訳)



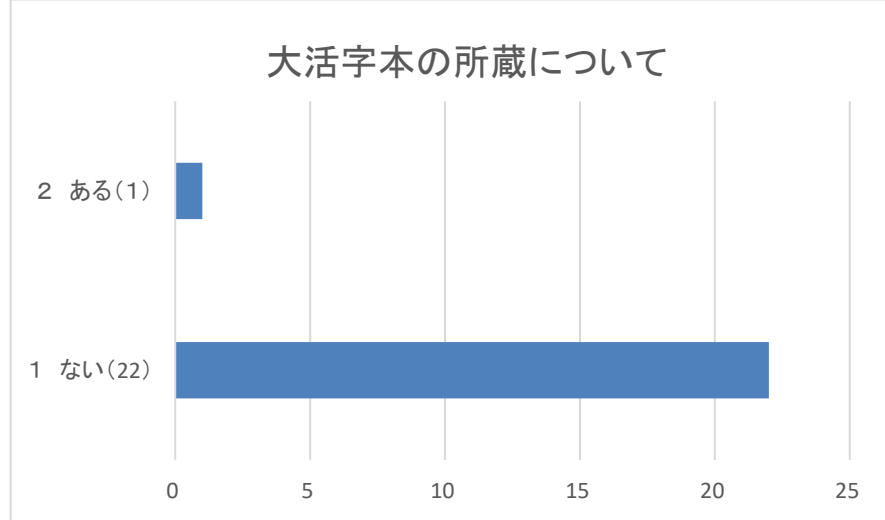
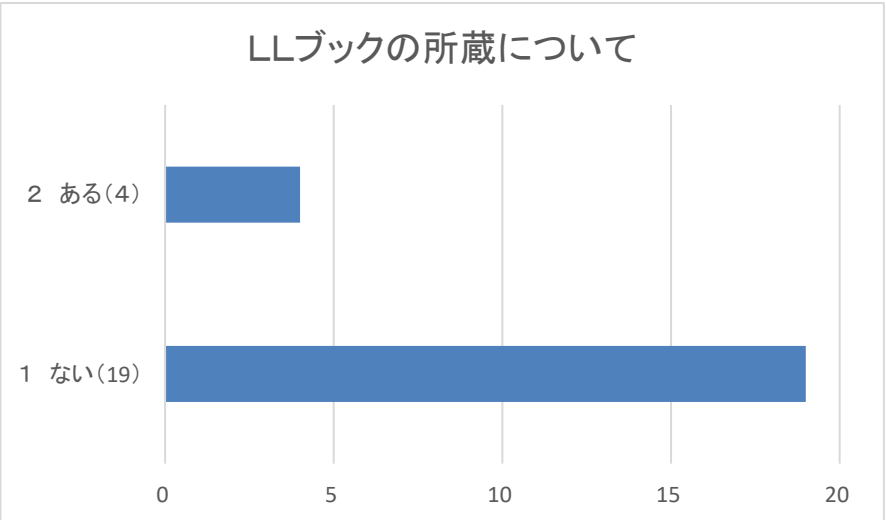
【読書バリアフリーについて】



回答のあったすべての学校で外国語の絵本・図書を所蔵しています。所蔵点数が2000点を超える学校もありました。言語はほとんどが英語のみで、韓国語の絵本・図書を所蔵している学校が3校ありました。それ以外の言語の所蔵がありませんでした。

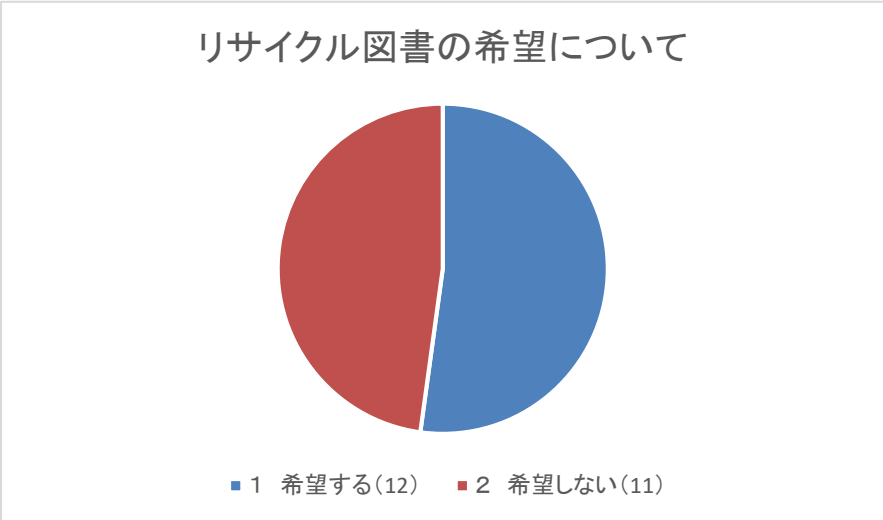
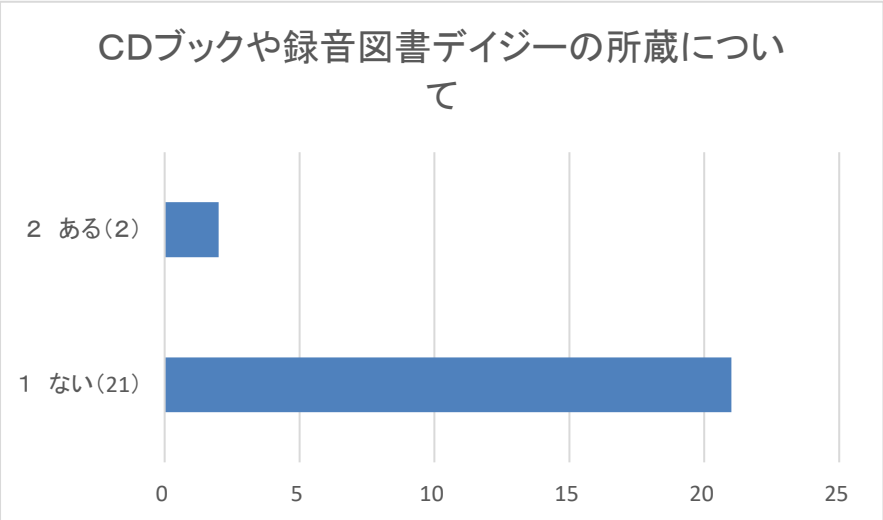


※布絵本を所蔵している学校はなし。



※あると回答した学校の所蔵点数は2点(2校)、4点(1校)、5点(1校)です。 ※あると回答した学校の所蔵点数は53点です。

※「LLブック」とは、スウェーデン語で「やさしく読みやすい本」という意味。ピクトグラム(絵)を使ったり、短い言葉で書かれたりしている本。

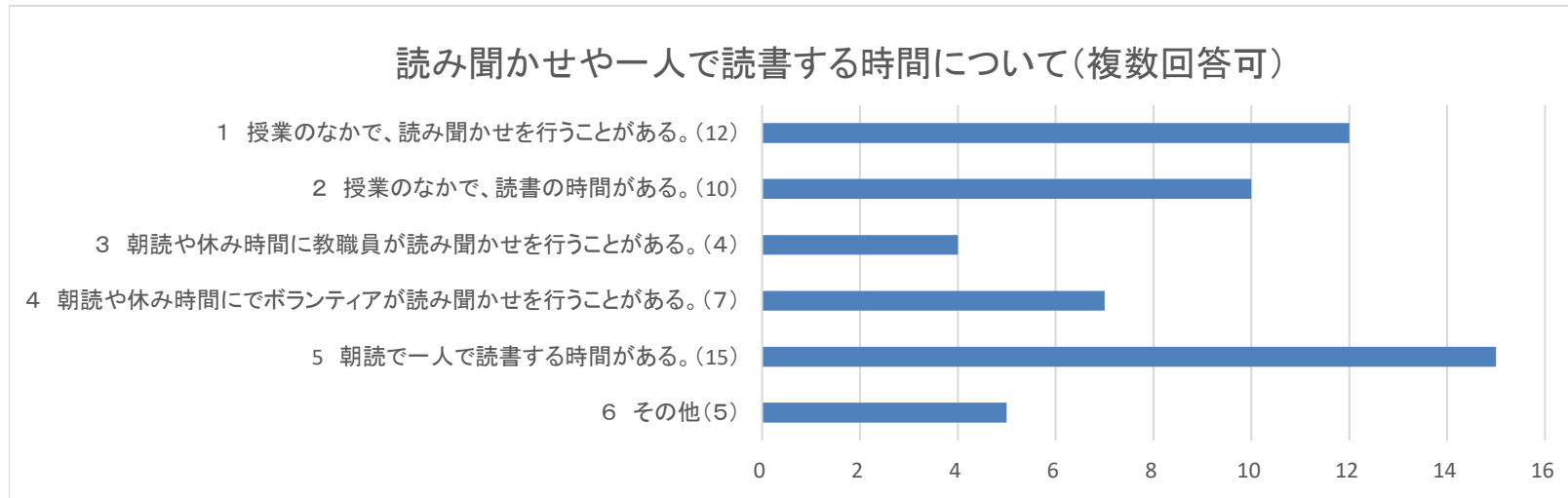


※あると回答した学校の所蔵点数はCDブック15点と23点です。 ※リサイクル図書の方法を検討し、ご希望の学校へお知らせいたします。
 デジター図書の所蔵はありませんでした。

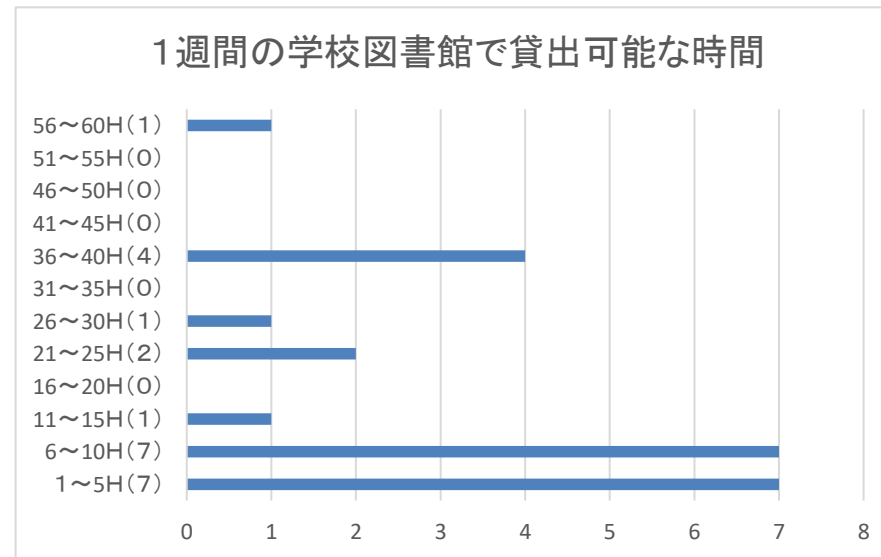
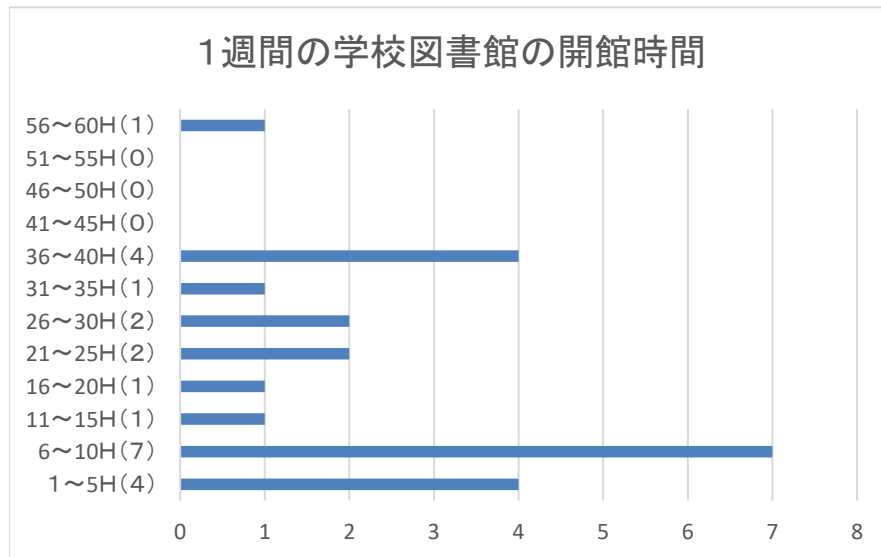
障害のある子や海外にルーツのある子へ、どんな読書をサポートをしているか。

- ・リーディングトラックの貸出ー2
- ・図書館ピクトグラムも取り入れていこうと製作中。
- ・特別支援級の児童が興味を持ちそうなわかりやすい乗り物の本を購入している。
- ・図書の時間に、参加型の大型絵本やしかけ絵本、絵がわかりやすく簡潔な文章の本を図書館からお借りして、読み聞かせしている。
- ・支援級のこどもたちのための選書や貸出(11ブック等)。
- ・支援級の職員とコミュニケーションを取り、生徒の発達に沿った本の購入を心がけている。
- ・興味のある分野の図書を積極的に購入。現在、伊藤忠記念財団の「マルチメディアDAISY図書」の利用を支援級の先生方と検討中。
- ・英和和英辞典の年間貸出・日本語多読ブックの貸出。
- ・英語でも読める本を数冊おいている。行事がわかる紙芝居をおいている。
- ・外国語担当の教員と連携しておすすめの本を選書し、積極的に収集し紹介している。

【本の読み聞かせ・一人で読書する時間について】

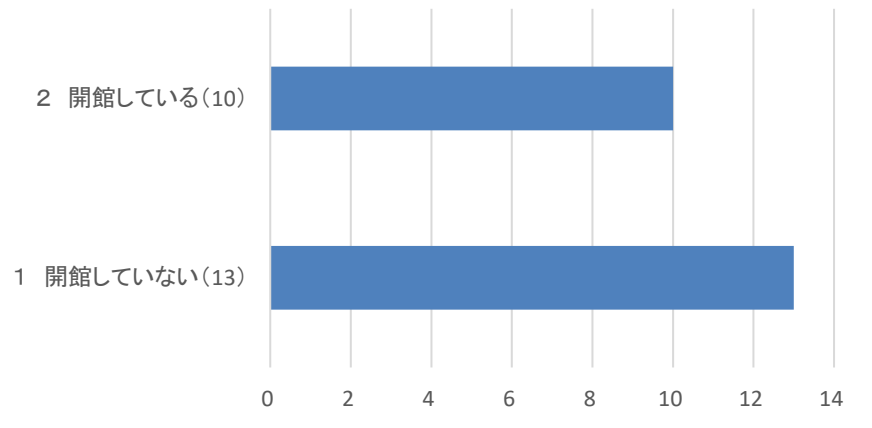


【学校図書館の開館状況について】

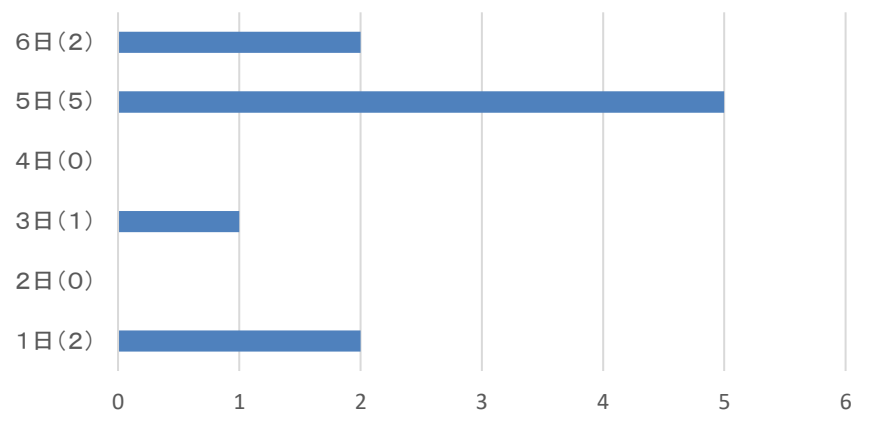


※「100時間」「いつでも」という回答がありましたが、1週間の開館時間、貸出時間なので「40時間」でカウントしました。
 ※私立中学・高校で「月曜から土曜まで8時から17時半まで開館」という学校があり、「57時間」でカウントしました。

放課後の学校図書館の開館について



1週間のうち放課後開館している日数



開館していると回答した10校のうち7校は週5日以上開館しています。

【学校】学校図書館を開館するために、工夫していることについて

<開館時間・運営について>

- ・常に開館 特に保護者ボランティアにはお願いしていない。
- ・勤務のない日は図書委員が開館している。
- ・図書委員、司書、スクールサポーターが当番を分担してできる限り開館している。
- ・工夫していることは特にないが、学校図書館専門員が不在の日も休み時間に図書室で読書ができる状態にはなっている(貸出は不可)。
- ・昼休み、図書委員が交代で開室・貸出作業をしている。
- ・専門員の勤務日以外は、図書委員にパソコンの立ち上げ、貸出返却、シャットダウンまで依頼している。
- ・読書活動推進員の先生の出勤日に放課後開館している。
- ・放課後開館のため、5時間の勤務を午後に行っている(読書活動推進員)
- ・昨年度より図書ボランティア(保護者)さんによる開館がスタート(週2日)
- ・その他、面談期間やテスト前・夏休み(2.5h×15日)も利用できるようになった。

※図書ボランティアさんはもちろん先生方の協力により可能に

- ・専ら生徒委員会の運営による。
- ・毎年年度始めに図書館担当の先生をお願いしているが、増えない状態。
- ・司書教諭の常駐、委員会生徒の当番。
- ・できるだけ休まないこと。
- ・司書不在となる日はできるだけ教員に依頼して鍵の開け閉めをしてもらい無人開館している。

<読み聞かせ・その他について>

- ・朝の読み語り、図書館の環境整備のボランティアをお願いしている。ブックコートかけや季節の飾りつけなど。
- ・子ども達を温かく笑顔で迎え、探している本や困っている時に気軽にたずねる事ができるように、こちらから声かけをしている。
- ・リクエスト本やアンケートを取って、子どもたちや教職員の希望する本や人気の本を把握し購入している。選書会も1年に1度行っている。
- ・以前は、朝読書(毎週木曜日実施)を各教室のみでおこなっていたが、5・6年生の学校図書館利用をより増やしたい目的と、全クラスに学校図書館において、落ち着いて読書に集中できるよい時間の確保のため、各クラス順次、学校図書館内での割り当てを作成し、おこなっている。

【学校】独自の取組について

<行事・イベント・読み聞かせ・展示等について>

- ・ 図書委員会活動として読書マラソン
 - ・ 本の紹介(児童の書いたPOP・放送)
 - ・ 学年やクラスに提案したビブリオバトル(司書より)
 - ・ 読み聞かせ(司書・保護者)
- ・ 図書委員おすすめ図書のポップを作り、本と共に展示(今年度)
 - ・ ビブリオバトル、貸出図書でのビンゴ(昨年度)
- ・ 年間行事として、児童委員会が読書週間の実地をしている。
 - ・ 児童による読書イベント(しおり作りや本のおみくじ)
- ・ 毎年6年生が1年生へ朝の時間を使って読み聞かせをしている。図書館専門員は6年生に事前に本の選び方や読み聞かせのポイント等のアドバイスも行っている。
 - ・ 図書委員会の委員会活動で秋に読書週間イベントと冬のイベントを企画、取り組み盛り上がった。(図書クイズ・おみくじ・スタンプラリー・読書ビンゴなど)
- ・ イベントなどで図書室や読書に興味を持ってもらうよう工夫している。
- ・ 7月平和授業での読み聞かせ。
 - ・ 9月校内平和展の時に関連図書展示をおこなう。
 - ・ 9月新着図書展示会をおこなう。
 - ・ 11月、読書週間イベント開催(読書ビンゴ・おすすめ本投票等)。
- ・ 国語科の授業でビブリオバトルを実施している。
- ・ 指導教諭によるが、ビブリオバトルを年に一回程度行うこともある。ただし高校2年生は必ず、夏休み前に校内予選を行っており、読売新聞社後援の県予選に出場している。
→昨年度から参加の仕組みが変更されたようで申し込むのに少々難儀した。県全体で図書館が動いてもらえたらと思う。
- ・ 5年ほど前まで、中等部で国語の時間を利用して、週1時間読書の時間というものがあり、POP作成・帯作成・ビブリオバトル・図書カタログ作成などしていた。10年ほど前までは、朝の読書の時間もあった。今現在は、授業で図書館を利用するが、調べ学習が中心になっている。
- 今年度から「本をネタに話す会」を開催。
- 文化祭では図書委員作成のおすすめ本POPを展示予定(9月)市の図書館でも展示していただけると嬉しい。

<図書館との連携（学習パック等学校貸出の利用など）について

- ・読み語りボランティアの方々へのおすすめ図書の紹介など、機会があれば図書館の児童担当の方のお話が聞けると大変喜ばれると思う。
- ・図書館と連携・・・今後も学習パック・よみものパックの利用とパックの内容の更新等、更なる充実を希望（全校児童に、「なつやすみにおすすめのほん」の印刷と「図書館 de 一句」の案内をいただいて、ありがたい。児童に配布・案内させていただいた）。
- ・朝読パックの利用等を今後行って、生徒に良質の本提供できるようにしたい。
- ・市立図書館より毎月朝読用の本を借りている。回し読み新聞用に小学生新聞を年数回用意している。
- ・よみものパックなどで支援級向けの本をもっと活用したい。
- ・以前、鎌倉について調べ物をする際、腰越図書館の「学習パック」利用でにお世話になった。タイミングが合わず、毎年とはいかないが、また機会があったら使わせていただこうと考えている。

<その他（読書ノート、図書館だより、蔵書の充実ほか）>

- ・読書ノート(図書室準備・全校生徒用)
- ・分類を学ぶために図書館分類の歌を紹介している。
- ・Googleアカウントが学校司書に必ずもらえるようにしてほしい。もらえたら、Googleサイトで図書委員会のHPを作成してみたいと考えている。新着本のお知らせ・図書だより等を載せたい。
- ・図書室だより作成(図書委員POP・先生インタビュー)。
- ・図書室利用案内作成。1年生に配布。
- ・リクエスト受付：先生&生徒。
- ・図書委員会：朝読おすすめ本コーナー、図書室PR動画、学級文庫選書、新着本放送など。
- ・朝読書用に各クラス15冊貸出　クラス貸出中の図書も借りられる。※教室出張貸出の役割も。
- ・総合の授業の内容に合わせて図書を展示。
- ・家・教室どこからでも蔵書検索が可能に。
- ・カーリル予約を使って図書室が閉館中も本の貸出が可能に。　※体育祭前の長期図書室閉館中に活躍。
- ・利用できる時間が増えると利用者も貸出冊数も増加するため、できる範囲で図書室が開館できるように調整。
- ・全学年「読書」の授業がある。
- ・校内の読書週間の設定をしている。
- ・図書室、国語科によるおすすめ本リスト(「鎌女の100冊」「国語科の100冊」)発行。各自で本を選ぶ際の参考にさせる。
- ・また中学生には記録のための読書ノートがある。高校生でも手持ちのノートを使って記録をさせる場合もある。

・貸出冊数は、基本的にひとり3冊。ポイントを貯めると、6冊まで借りることができるようにしている。
 長期休みの間は、春・夏・冬休みだが、ひとり10冊まで借りられる。(ポイントがある人は、プラスポイント)

- ・『図書館だより』をGoogle classroomにて配信。
- ・スマートオフィスでの蔵書検索を検討中。

【学校】困っていることについて

- ・学校図書館図書(メディア基準を達成するには)書架が足りない。
- ・メディアの種類が少ない。(新聞・雑誌等なし 電子書籍もなし)
- ・図鑑等についているDVDの有効な使い方があればぜひ教えてほしい。
- ・〇年生までに身につけておきたいメディアリテラシーの基準があれば教えてほしい。
- ・本棚の棚板が固定されているうえ、高さが足りないので多くの本が分類通りに並べられないこと(感覚的には半分位の本が並んでいない)。
- ・読書パックを借りる際、各校から集中するので、十分な期間、借りることができないのが困る。
- ・読書にあまり興味がない子どもへ、どのように読書支援をするか、各学校や図書館で工夫されていることを知りたい。
- ・他校(私・公立問わず)がどのように運営しているのか、学校司書の待遇などに関する情報がなかなか得られにくい。
- ・研修や集会があったとしてもその情報がどこに記載されているかが分からない。
- ・利用の伸び悩み。